

## 令和2年度 第2回学校運営協議会記録

日時：令和2年11月20日(金)15:30～16:30

場所：大阪府立貝塚南高等学校 会議室

### 1. 校長挨拶

学校外からいろんな意見をいただきたい。閉じた学校になってはいけない。

### 2. 委員・事務局員の紹介

吉川 測雄 氏

伏見 典子 氏

加田 博之 氏

南 芳治 氏

藤野 信治 氏 中学校・高校の交流を深めていきたい。

岸田 米夫 氏 (本日欠席)

会長選出 吉川 測雄 氏

### 3. 会長挨拶

コロナや生徒の問題に対応し、地元で人気のある学校、中学校との関わりが深い高校にしていきたい。

### 4. 報告

#### ・教務部

コロナウイルス感染症対策のため4月～5月の末まで休校が長く続いた。6月は分散登校を実施した。授業日数確保のため、夏休み・冬休みを短縮し、土曜にも授業日を設定した。

冬休みの期間は12/26～1/3に短縮する。

例年とは異なった学校生活となった。

#### ・生活指導部

昨年度からの課題は遅刻数である。対策として、時間管理の意識づけをさせるためにメロディーチャイム(校歌)を導入した。生徒に校歌を知って卒業してもらいたいもある。

結果として、昨年度と比較すると遅刻数が現段階で、4500件→1500件(30%減少)である。

登下校の際、危険な箇所が多いため、交通の規制をできないか警察署と連携している。

#### ・保健部

感染症対策として、消毒(クラスに1本)1号棟のトイレ・玄関に設置。また、金曜日に普通教室の消毒を行っている。

検診でも消毒・密を防ぐためにテープで間隔の確保を行った。

#### ・行事活動部

文化祭で感染症対策のために消毒を徹底し、当日入場できる人数を規制し、体育館、食品バザーを控えた。生徒アンケートでは満足度が高いと回答した生徒がほとんどで、開催して良かった。

#### ・1年生

10月に文化祭を実施した。11月には校外学習（大阪探索）を実施。生徒アンケートでは満足度の高い回答が多かった。また、同月実施した学年運動会では、マスク着用（リレー以外）・消毒の感染症対策を徹底した。

第一学年生徒は不安な中、様々な人の協力の上、運動会が開催されたことを認識している。

修学旅行実施の不安、コロナの時期であるが、これからも教員間で連携をしていき、良い高校生活だったと言えるようにしたい。

#### ・2年生

修学旅行を実施することが危ぶまれたが、保護者の了承のもと実施することができた。修学旅行先がグアムから石垣島に変更になり、初めは大反発があった。

修学旅行の不参加数は10名程であった。

生徒自身でブログ作成を行い、修学旅行について肯定的な書き込みを行っていた。

修学旅行についてのアンケートでは9割ほどが満足と回答。

風邪などの病気や大きな怪我もなく、懇談でも保護者から感謝の声があり、実施して良かった。

修学旅行後は生徒の雰囲気が浮ついているので、そこを今後成長させていきたい。

#### ・3年生

今年度はクラスがまとまる機会のある行事が少なかったが、文化祭で親睦を深めた。

文化祭は外部の参加がなかった分、3年生はクラス内でまとまることができた。

クラスマッチの種目決めでは「みんな一緒がいい。」「運動嫌いやから休む。」などと生徒間でもめ事があったが、話し合いをさせて解決させた。クラスマッチは生徒主体で考えさせて、6つの種目を行うように決定。1月にもクラスマッチ（ドッチボール）を行う予定。

11月に実施した校外学習では、生徒たちが計画し、行き先を決定した。その結果6クラスが京都、1クラスが大阪となった。マスク着用も守れていた。

生徒がクラス単位で校外学習のまとめを作成中。

大半の生徒の進路が決まりつつあるが、気を引き締めていきたい。

### 5. 協議事項

「令和2年度学校経営計画及び学校評価について」の進捗報告

夢・目標・主体的・進路実現・積極的などがキーワード。まずは先生が主体的・積極的に

なる必要がある。

生徒が進路を3年かけて見通せるようにするため、貝南進路マップを作り、各学年で何をするかを提示した。また、基礎力診断テストと連携して Classi を全生徒・保護者、教員に導入した。

生徒たちのために何ができるか？を日頃より考える。

4月からの休校中は生徒に Classi を通して課題や先生による動画配信をした。さらに、ZOOMでのSHR、課題の質疑応答にも取り組んだ。

文化祭は外部の人を制限するという閉じた形で実施。PTAの方によるドリンクの配布もあった。文化祭では感染症対策の規制が緩和され、保護者1名入場可能になった。

修学旅行では中止になった学校もあったが、キャンセル料を大阪府が負担してくれるとのことで、段取りを組むことができ、無事実施することができた。

マラソン大会について例年は二色の浜公園で開催されるが、今年度は二色の浜公園の規制が厳しく開催ができないため校内などの場所で開催する予定となる。

全学年が集まる集会を今年度はできていない。

コロナ対策の予算で使える300万円を化学実験室にエアコンをつけたり、全授業教室の黒板をホワイトボードにした。

今後は全生徒がクロームブックをもち、授業を受ける。先生にも配布していく予定である。

公開講座を実施する予定であったが実施できるか検討中である。

「教科用図書選定について」

不適切な選考はなく、コンプライアンスは守られていた。

## 質疑応答

Q 日程がタイト。働き方改革について、休みの取り方はどうなっているか？

A 授業日数が決まっている。代休が取れなくなっているのが現状。年度末には休むように。ストレスチェックをしたり、体温チェックをしている。

教育委員会が動いてくれないとなかなか教員は休みがとれないので連携していく必要がある。

Q 入試について センター試験から共通テストへの変更点や資格をとると有利といったことがあるがどうなっている？

A 共通テストに関して

一般入試を受けるのは本校ではごくわずか。

感染症に感染してしまうと入試などを受けることができなくなってしまうので、生徒たちには自己管理をしっかりするように伝えている。

Q 授業の進み具合について例年より早い？遅い？

A 自粛期間中のリモートの活用により例年より早い教科もある。  
今年度は休みが少ないため、生徒は疲れるが授業日数はほとんど変化ない。

Q 中学生への広報・保護者との連携の仕方・食堂・KEYSについて教えてほしい。

A 中学生への広報について

今年度は広報活動をするのが困難な年度である。  
合同学校説明会はほぼすべて中止になった。1回だけ実施でき、参加者は4名だった。  
クラブ体験 OS、体験授業 OS、中学校訪問を実施した。  
クラブ体験 OS では例年2日のところ1日に短縮し、実施時間も短縮した。  
体験授業 OS では、現在170名参加予定。  
卒業者の近況報告をすることを目的に中学校訪問を去年から実施している。  
テレビ岸和田で7分間の学校紹介を生徒会が主体的に実施した。

保護者との連携について

Classiにてアンケート・欠席連絡を実施して連携をとっている。  
配布物や総合・HRの様子などをClassiで保護者に連絡している。  
Classiをみている保護者を増やすことが課題である。

食堂の飛沫対策について

対面にならないように椅子を交互に配置。扉は解放し、換気を行い、ビニールを設置している。食堂試食会を実施。最大限感染症対策をした。

KEYSは活動できていない。赤い羽根募金を今週実施している。

コメント

1. コロナ対策について、人間関係づくり・保護者からの不安の声がある。  
→学校行事から人間関係の形成がされる場合が多い。改めて学校行事の意味を確認できた。  
グループワーク・ペアワークをしていく中で、人間関係を形成して行ってほしい。
2. 自転車マナーが悪い。危険なのでマナーを守る。  
学校付近の防犯灯について、台風で故障していたが、1つ設置した。
3. コロナ禍の中で不自由な生活を強いられる。あきらめることは簡単だが、困難な状況の中でも自分たちには何が残されていて何ができるのかを生徒だけでなく教員にも考えていてほしい。